

平成22年10月 第295号

大代地区コミュニティ推進協議会
(広報部)

事務局：大代地区公民館

☎364-8442

ふれあい

〈掲載目次〉

- 防火水槽の再設置 2
- 敬老の日 おじいさん、おばあさんへ 2
- 柏木神社境内清掃御礼 2
- 子ども育成会恒例キャンプを終えて 2
- ポウリング大会に参加しませんか 3

- 大代地区公民館おとこの料理教室 参加者募集のお知らせ 3
- 大代の歩み(三十一) 3
- ふれあい短歌・俳句 3
- 大代地区公民館地域拠点化計画について 4
- 流灯花火大会の決算報告 4

防火水槽の再設置

大代西町内会長 伊藤 要

今年、梅雨明け宣言になった翌日から真夏日・猛暑日と連日全国各地で猛暑が続いた夏、立秋を過ぎて9月に入っても猛暑の残暑が続く日々でありました。大代一丁目地内の元桜井ガソリンスタンドの敷地内に設置されていた防火水槽が撤去される工事が進められると言うことで付近の方々から情報が寄せられました。それではイカンと早速、市役所担当課に問い合わせたところ、土地所有者から防火水槽の撤去を求められたと言うこととありました。

大代西区の消防水利の状況を知るべく市役所に出向きお話を聞いた結果、担当課は法で定められた消火栓、防火水槽は充足しているとの回答でありました。旧ガソリンスタンドに接する仙台・塩竈線の歩道部分に流域下水道管、工業用水管、ガス管、多賀城・七ヶ浜上水道管等が多数埋設されている箇所でもあることを付け加えられました。

対応を検討した結果、地元消防団関係者・地域住民有志で、真夏日の8月10日、菊地多賀城市長と面談して「防火水槽の再設置要望書」を提出する事になり、大代西町内会長、同副会長、市消防団長、消防団第6分団長、市婦人防火クラブ会長、西区第3班長、近隣住民の方々、防火水槽再設置の相談に応じていただいた寺沢県議会議員、地元米沢市議会議員、伏谷市議会議員も市長との面談に同席し

ていただきました。次のような要望書を提出しながら市長に説明いたしました。

防火水槽再設置要望書

「大代一丁目12番地内に設置されていた防火水槽が、この度突然撤去されました。付近住民の多くの方々から防火水槽の再設置要望の声があがりまして、ここに防火水槽の再設置を要望するものであります。

ご存知の通り、有事の際は、消火栓以上初期消火の活動をするのが防火水槽であります。近い将来発生が確実視されている宮城沖地震時には、ライフラインである水道施設の損壊も危惧されております。その際、地元消防団で消火作業が可能である唯一の施設は、防火水槽であります。

大代西区には撤去された防火水槽を含め現在まで適正に配置されておりました。再設置場所としては、付近に公園等の公共用地はありませんが幸い県道仙台・塩竈線の隣地に県有地(道路の未利用部分)の緑地がありますので、その緑地に築造していただければと思っております。地域住民の安全・安心な街づくりのために早急に防火水槽の再設置を強くお願いするものであります。」

これに対し市長、担当部長は、提案された県道の未利用緑地には地下埋設物が多数あり切り直しにも大変な費用もかかるので、付近に空き地または畑地を見つけてください。また、大規模災害時には砂押川からの利水をして対応するとの考

えに、近隣の方から現在の状態では不可能であるし、これまでも訓練はしていない、橋の上からも現在のポンプ能力では揚水は出来ないことを申し上げました。今回の要望は、新たな設置ではなく従来あったものを復元設置するものであり、県道未利用緑地の地形に応じて三角型、丸型でも現在の技術で築造が可能であることも申し述べ、地域住民の安全・安心な街づくりのためにお願いして参りました。

敬老の日 おじいさん、

おばあさんへ

大代西区 東小3年 小野 照文
今日は敬老の日です。学校の先生と、お父さんから、今日は、おじいさんとおばあさんに感謝をして、大切にするとお教えてもらいました。

ぼくには、じいちゃんとおばあさんがいます。じいちゃんは七十五歳、おばあちゃんは六十七歳です。じいちゃんとおばあさんは、ぼくが学校から帰ってくるのを、いつも待っていてくれます。プールに行くときの送りむかえもしてくれます。つい先日もとこやに連れて行ってもらったんですけれど、ぼくがそんなにかみを短く切ってほしくなかったのを知って、じいちゃんはおざと後ろから「バリカンだ！バリカンだ！」と、むじやきに、さわいでいきました。じいちゃんには天気予報と、カメラと、つりと、しょうぎがとくいです。春には毎年山菜取りにつれていってくれます。木をまるごと取ったりするダイナミックなやりかたに、ぼくは、ときどきびっくりします。おばあちゃんには、毎日、夕ご飯をつく

ってもらいます。おばあちゃん手作りのチャーハンは、とってもおいしいです。おばあちゃんの花や植物にもくわしいです。このあいだ、家の畑にカボチャのような野菜が、とつぜん「実」をつけました。白っぽくて見たこともない「実」だったので花にくわしいおばあちゃんに聞いてみたら、「それはドテカボチャだよ」と言われました。しばらく信じていませんでしたが、最近、だまされたことに気づきました。おばあちゃんは、折り紙やお手玉を教えてくれたり、夏には七夕飾り、冬にはクリスマスツリーの飾り付けも、ぼくたちと一緒にやってくれます。とにかく、じいちゃんとおばあちゃんはいろんなことを知っていて、たくさんのお話を教えてくれます。これからも、ぼくのじいちゃんとおばあちゃんだけでなく、ここにおいでの方々に、これからもずっと長生きしてもらって、ぼくたちが、わからないことや困ったことがあったときは、いろいろ教えてください。そして、ぼくたち子どもに負けないくらい、ずっと明るく元気でいてください。

柏木神社境内清掃御礼

柏木神社総代会長 内ヶ崎 勝夫
九月十四日、柏木神社境内清掃には、四十四名(地区の方二十六名、総代十八名)の方に御協力を頂き事故もなく終了いたしました。雨中の作業でありましたが、約百本間伐いたしました。大変ご苦労をおかけいたしました。今後共ご協力賜りますようお願い申し上げます。尚、十一月ごろ二回目の作業を予定しております。再度

お願いすることになるかと存じますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、大代地区の鎮守うぶすなの神(日)に催行いたします(小雨決行します)。ご家族お揃いでご参拝賜りますようご案内申し上げます。

子ども育成会恒例

キャンプを終えて

久保 容子

子ども育成会恒例行事で一番大変だろうと思われるキャンプを無事に終了させることができました。今年のキャンプは、例年とは少し趣向を変えて、バスを利用しての本格的なキャンプを計画してみました。近場での現地集合・解散の時と比べ、バス内での五区交流時間、川崎の広々とした自然の中で遊んだ自由時間、自分達の寝泊まりするテントを班全員で完成させた一日は、普段の何倍も充実していたはず。お楽しみ焼き肉を食べ、花火大会でにぎわい、興奮してなかなか眠れず、次の日も山形の流れるプールで遊び、疲れきった子ども達もいましたが、心配していた熱中症を含めた体調不良などは全くなく、無事に帰宅でき安堵しました。最後になりましたが、今回計画するにあたり協力してくださった皆様にお礼と次の事業での更なるご協力をお願いいたします。

ボウリング大会に

参加しませんか

ボウリング大会を左記のとおり開催いたします。ふるってご参加下さい！
 体育部 記

期 日 十月三十一日(日)
 場 所 一兆ボウリング場

九時集合 十時試合スタート

申込期限 十月二十日(水)

申込先 大代地区公民館

※大代地区公民館では申込のみとなります。ゲーム代・靴代は当日会場にて納入願います。

大代地区公民館

おとこの料理教室

参加者募集のお知らせ

内容 料理を作りながら、仲間作りを図ります。

日時 十月十五日(金) (全二回)
 二十二日(金)

午前十時から午後一時

対象 市内男性

定員 十名(先着順)

参加費 二千円

申込 十月一日(金)から受付します。大代地区公民館へ参加費を添えて直接お申し込みください。

大代の歩み (三十一)

大代南区 渡邊 巖

この土地譲渡の追認は、これから後なるべく禁止しようとするものだったが、窮民が年貢の上納に行き詰まり、借りの借り入れも返済できず、抵当の田畑

が貸主に流れる結果に終わるのは避けられないので、貸借金額に一定の制限を設け、借入れ人側が一応自立した経営維持が出来ることを明記してあれば田畑の譲渡が認められて「永代通り」即ち田畑の永代売買が出来る事となり、この政策は幕末まで継続された。しかしこの処置は結果として、田畑を借りて小作米を払う小作人と、田畑を集めて小作米を取り立てた収入で、更に貸付けが出来た地主を発生させる根拠になった。

こうして村には田畑の貸借に伴う様々な証文が残るようになった。なかには相談づくで証文など残さずに済ませた例もあつたらしいが、時代の推移と庶民の経済感覚の変化により農村社会にも従来の年貢米主体から貨幣経済へと移り、金銭貸借だけの証文も残るようになった。次にその一例を略記する。

『何許かの金子、確かに借用したことは間違ひ有りませぬ。ただし利息については藩の定める割合と期間のおりに元金と利息を揃えてきつと返済します。』

万が一借用人の返済が滞ることがあれば連帯保証人が、元利ともにきつと返済します。後々の為、連帯保証人を立てて此のように証文します。』
 右の様な、担保・抵当のない信用貸しが成り立つのは、貸手と借手あるいは連帯保証人である口入れ屋との間に信頼関係が必要不可欠であり、また飯に証文の約束を破れば村社会の中で信用を無くし、笑ひ者にされ名譽を失つて恥を掻き、それによつて生活に著しい支障を来すという村共同体の生活意識が藩内地域に広く行き渡つていた為と考えられる。

続く

ふれあい短歌

大代西区 藤田 遊子

(宮様特集)

宮様の 婚礼祝ひ 白鳥は
 皇居の池に 暫し漂ふ
 空晴れて 宮様御一家 ピクニック
 歩く野道に 野菊香りぬ
 宮様の 徒競走を 応援せる
 後の笑顔 秋空に映ゆ

ふれあい俳句

笠神西区 本郷 勝子

木にぶらり もりあおガエル わた袋
 息をのむ 熱気と興奮 花火大会
 (大曲花火師大会にて)
 樹々ゆれて 尺八琴の音 観月会
 (総社の宮観月会にて)
 海静 手に取れそう なままる月
 松島の 波間に遊ぶ 月二つ
 カルデラ湖 何千匹の 秋茜

八幡 森 季子

老杉の もとより生まれし 糸とんぼ
 列島や 猛暑まみれの 処暑となり
 腕ねじり 上げて確かむ 背の汗
 虫の音の 馴染む季節となりけり
 秋空や 飛行機雲の キャンパスに

大代西区 藤田 遊子

(古戦場特集)

謙信の 覇業の里や 山桜
 青き踏む ここは両雄 対し川
 踏青や 春日山城に 愛の旗
 しゆくしゆく と渡りし川や 霧の濃し
 城持たぬ 風林火山 郭公

大代地区公民館 地域拠点化計画について

大代地区コミュニティ推進協議会では、平成二十四年度から予定されている大代地区公民館の管理・運営移行への準備を進めております。

現在、公民館を拠点施設として、コミュニティ推進のために検討委員会を起ち上げ、月一回程度開催していく予定です。第一回目の検討委員会は、九月二十八日(火)に予定されていて、各行政区から推薦された委員等で話し合いがなされます。

流灯花火大会の決算報告

流灯花火大会実行委員長 三浦 徳男
会 計 白浜 宣子

八月二十一日、地区の皆さん方のご理解と関係各位の多大のご支援をいただき実施した流灯花火大会の決算を下記のとおり報告します。

花火の打ち上げに関する件ですが、昨年までは消防署に届けるだけで済んでいました。今回からは、手数料納付の上、許可制となり、現地調査や打ち上げ花火の種類により、観客席までの距離や民家までの保安距離の確保などが決められています。また、費用や許可を受けるための打ち上げ台の設置などの準備等の負担等を考慮すると検討すべき時期に来ているものと考えております。とりあえず現状について報告をさせていただきます。

平成22年度流灯花火大会収支決算書

平成22年8月21日(土)

収入額	306,973
支出額	239,804
差引残額	67,169

【収入】

項目	今年度	前年度	摘要
御香典	222,220	221,150	87件
募金	24,719	129,526	
繰越金	60,034	0	前年度より
合計	306,973	350,676	

【支出】

項目	今年度	前年度	摘要
お布施	30,000	30,000	
準備費	7,856	8,552	印刷代・除草剤・消化器・コンパネ
申請代	10,200	2,000	道路使用申請代・火薬類消費許可申請代
花火代	100,000	150,000	塩釜銃砲店
花生代	3,500	3,196	
御供物代	1,774	2,860	
謝礼	25,000	25,000	電気設備代
〃	10,000	10,000	子ども会育成会
〃	10,000	10,000	交通指導隊
〃	10,000	10,000	消防団
〃	10,000	10,000	船借り上げ代
〃	10,000	10,000	祭壇飾り使用代
〃	6,000	6,000	担当区(東)
〃	3,000	3,000	一二三会
灯籠代	1,494	6,218	障子紙など
線香・ろうソク	980	3,816	
その他	0	0	
合計	239,804	290,642	